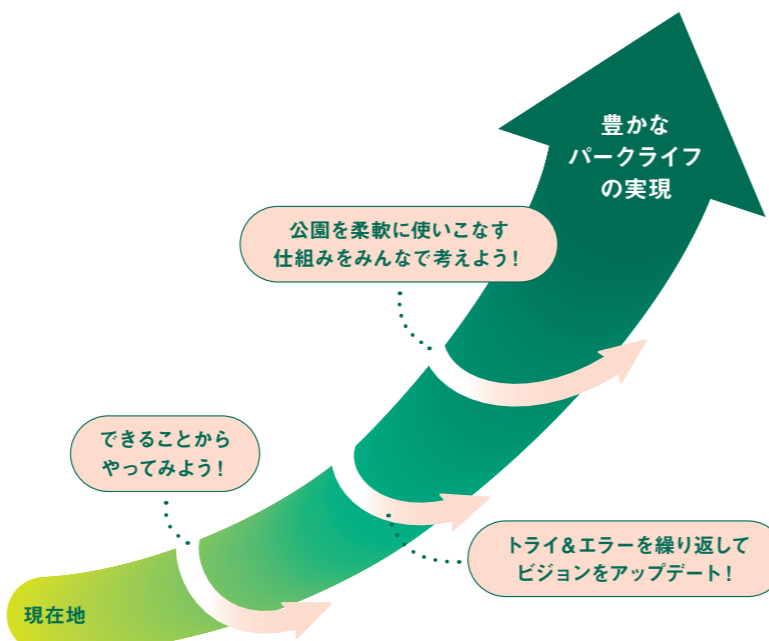


ビジョンの 実現に向けた アプローチ

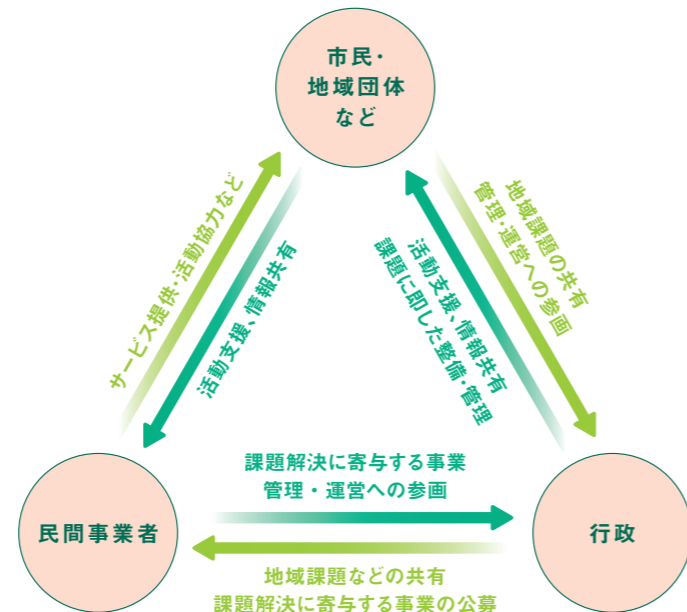
ビジョンの実現に向けては、仮説を立て、実験や観察を通してデータを収集し、検証を繰り返す中で、よりよい方法を考えていくアプローチが効率的であると考えられます。時には失敗から学ぶことも大切で、試行錯誤しながら、少しずつ解像度を上げていく、そんなイメージで取り組んでいきましょう。



春日池公園 パークライフ ビジョン 2023

推進体制

ビジョンを実現するには、公民連携による推進体制の構築が不可欠です。行政だけでなく、地域の実情をよく知る市民と、行政では持ち得ないノウハウを有する民間事業者が相互に連携し、地域課題を共有する中で、役割分担を図りながら、一緒にパークマネジメントを推進していくことが効果的であると考えています。



公園が
豊かになれば、
きっと暮らしも
豊かになる!

気持ちのいい、
ワクワクする公園が身近にあると
暮らしがもっと豊かになっていく
と思いませんか？
春日池公園パークライフビジョンは、
春日池公園が持つ豊かな自然環境を、
みんなで守り、みんなで育て、
日常の暮らしに活かしていく、
そんな想いを詰め込んだ
新しい公園づくりの道しるべです。

SPECIAL THANKS!

春日池公園パークライフビジョン 2023 は、FUKUYAMA Park Life LAB in 春日池公園のワークショップに参加いただいたみなさんと一緒に取りまとめました。多数の方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。

福山市東部地域振興課
地域づくり担当

MAIL toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

TEL 084-940-2574

福山市公園緑地課
利活用推進担当

MAIL kouen-ryokuchi@city.fukuyama.hiroshima.jp

TEL 084-928-1096

お問合せ先

公園づくりの
3ステップ

STEP 1 公園を使った
豊かな暮らしを
イメージする

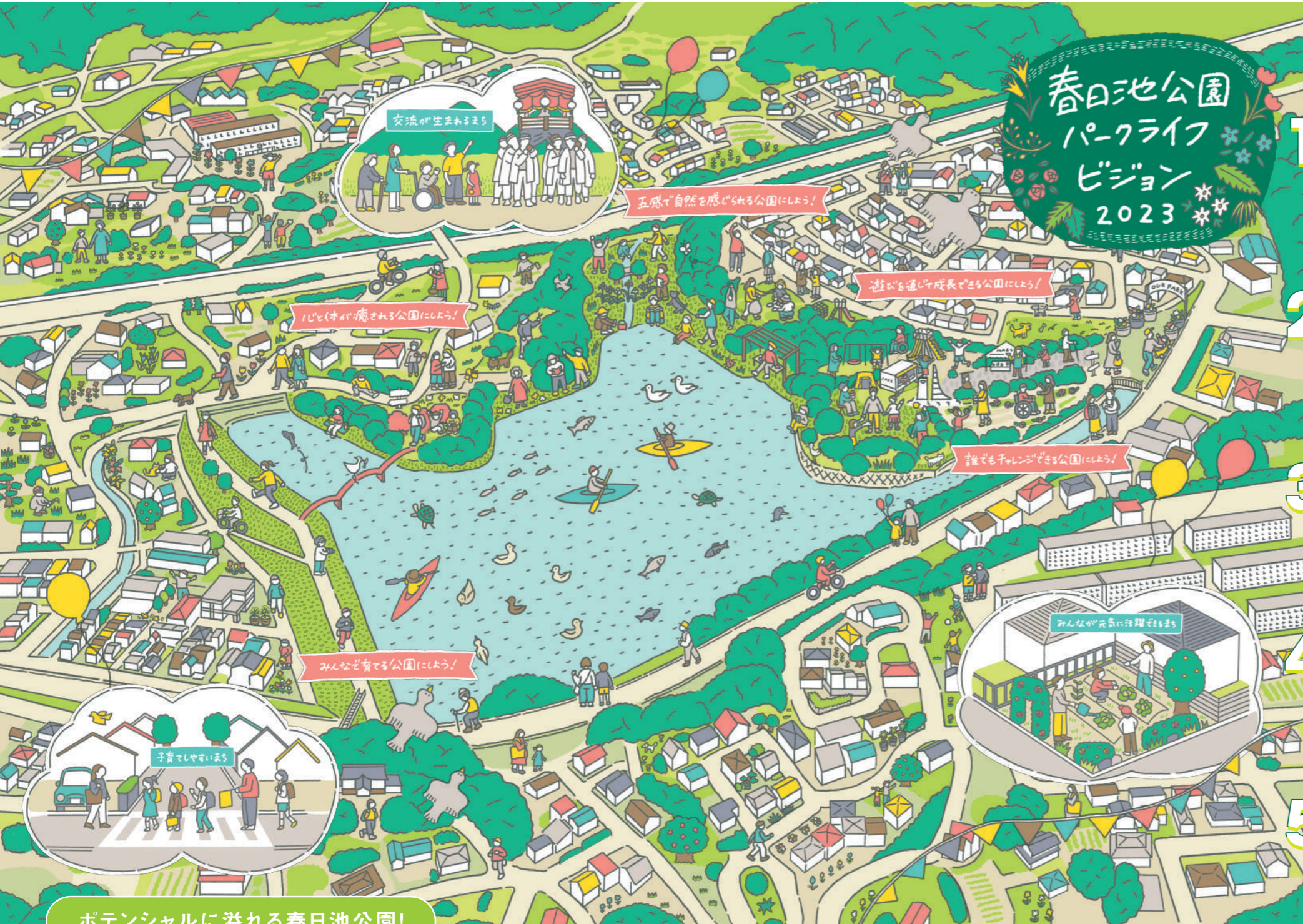
STEP 2 ワクワクする
公園の使い方を
考えてみる

STEP 3 1つずつ小さな
チャレンジを
実践してみる

春日池公園パークライフビジョンは一度つくって終わりではありません。小さなアクションの積み重ねから、いろいろなことが見えてくるはずです。活動を通じて1人1人の想いを反映しながら、みんなの手でアップデートしていきましょう。

みんなで育てる、元気の源。ネイチャーポジティブな水辺公園

「ネイチャーポジティブ」とは、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せることを意味する言葉です。春日池公園の豊かな自然環境を地域資源として保全・活用し、次世代に引き継いでいくという想いが込められています。



ポテンシャルに溢れる春日池公園！

みんなの想いから紡ぎ出された **5つの取組方針**

ワクワクする公園が
生み出す、豊かな暮らし

1
五感で自然を感じられる公園にしよう！

春日池公園には多様な生き物が暮らす豊かな自然環境が形成されています。これらの自然環境は五感を通して私たちの心や体に良い影響を与えてくれます。この自然がもたらす恩恵をネイチャーガイドなどを通じて学んだり、体感できる公園にしていきたいです。

2
みんなで育てる公園にしよう！

豊かな自然環境を有する春日池公園は、貴重な地域資源でもあります。今後、公園の管理に係る負担が増える中でも、みんなで守り、育て、よりよい地域づくりに活かしていくことが大切です。公と民が連携して、自然環境の保全や活用に積極的に取り組み、次世代に繋がる公園にみんなで育てていきましょう。

3
心と体が癒される公園にしよう！

豊かな自然環境は、現代人が抱えるストレスや疲労を回復させる力を持っています。誰もが自然の中に身を置いて、安全で快適に歩いたり、本を読んだり、コーヒーを飲んだり、思い思いに過ごせる環境を整え、心と体がリフレッシュできる公園にしていきたいです。

4
遊びを通じて成長できる公園にしよう！

春日池公園には、障がいの有無にかかわらず、多様な子どもたちが一緒に遊べるインクルーシブ遊具が整備されています。この遊具の活用を通じて、子どもたちが遊びの中から社会性や柔軟性、コミュニケーション能力などを学び、成長できる公園にしていきたいです。

5
誰でもチャレンジできる公園にしよう！

マルシェやドッグラン、音楽ライブや水上アクティビティなど、多様な活動が公園で受け入れられれば、日常の暮らしはもっと楽しくなるはずです。公園を柔軟に使いこなすローカルルールを自分たちで考え、色々なチャレンジができる公園にしていきたいです。



豊かな自然環境

湿地や樹林など、多様な生態系が形成されています。調査をすれば、もっと発見がありそうです。



備後三大池の春日池

人々や生き物の暮らしを支える貴重な水源は、暮らしに潤いをもたらす景観資源でもあります。



公園のシンボル

公園のシンボル「太陽の滴」は、人と自然を繋ぐ環境彫刻として杭谷一東氏により制作されました。



ウォーキングに最適

自然を感じながら園内を一周できるウォーキングコースは、多くの利用者者に愛されています。



芝生広場

自然に囲まれた芝生広場は、子どもから大人まで、誰もが自由に活動できる広場です。



ばら園

福山第2のばら公園をイメージしてつくられました。2300本のばらが訪れた人を出迎えます。

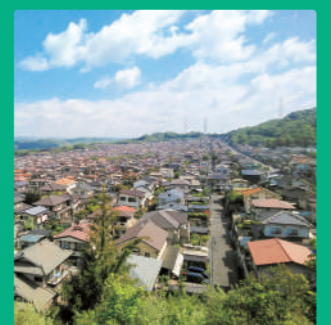


インクルーシブ遊具

障がいのある子もいない子も一緒に遊べる遊具が整備され、新しい公園のモデルになっています。

公園の周辺はこんなまち！

大規模な住宅団地



春日池公園の周辺には、高度経済成長期に造成された大規模な住宅団地が広がっています。春日池公園は当時の土地区画整理事業により整備された総合公園です。現在、人口減少局面を迎え、新たな魅力の創出や多世代の交流促進、空き地・空き家の有効活用等が地域課題とされています。